

# はじめに

今年度も、ホームページ委員会、授業改善委員会、アイデア委員会、研修委員会において、指導員、世話係、主任の先生方が工夫・改善をし、岡崎市の算数数学部の充実発展に寄与していただいたことに深く感謝しています。

岡崎の算数数学部の強みは、各研修会が充実していることだと思います。7月には授業力・教師力アップセミナー（基礎編）が若い先生方中心に行われました。指導員の西尾修一先生からは「授業づくりについて」、世話係の松金正樹先生と大原洋平先生からはそれぞれ「基礎学力調査」「アイデア集」の利用の仕方についてお話をさせていただきました。8月の同セミナー（専門編）では、愛知教育大学の飯島康之先生から「ICT・アプリ等の効果的な使い方」について教えていただきました。参加者も自分の考えを発表する機会もいただき、大変勉強になりました。

そして、読書会です。昭和31年より脈々と続いている教職員による自主研修会です。今年も、読書会講師の柴田録治先生、栗田万砂夫先生の講話をスタートに、毎月市内の実践から学ぶというスタイルで、若手、ベテランを問わず学ぶ機会をいただけてきました。お二人の講師の方々からのご助言はもちろんのこと、OB会員の方々からもご意見をいただくことができ、算数数学教育を学ぶ大切な場になっています。そのおかげで、今年も、市の教研大会では熱心な議論が交わされ、大樹寺小の柴田博巳先生、東海中の里見涼多先生、竜海中の江口京弥先生、甲山中の前原章由先生が県教研の正会員に選ばれ、岡崎の実践を発表していただきました。

また、1月に行われた読書会（兼学校数学研究会）では、愛知教育大学の青山和裕先生にお越しいただき、「データの活用」領域の授業実践や子供ができるデータ分析の方法を紹介していただきました。

今後も、多くの先生方にご参加いただき、算数数学の授業力を高め、岡崎の子供たちの資質・能力を育てていただくことを願います。

最後になりましたが、私たちの活動に対して常に温かいご指導をいただきました岡崎市教育委員会ならびに、いつもご支援くださる読書会講師の柴田録治様、栗田万砂夫様をはじめ、多くの先生方に深く感謝申し上げます。

令和6年3月

岡崎市現職研修委員会算数・数学部長 鈴木 勝久